

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道108号 石巻河南道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自:宮城県石巻市蛇田 至:宮城県石巻市北村		延長	7.8km	
事業概要					
一般国道108号は、宮城県石巻市を起点に宮城県・秋田県を横断し、秋田県由利本荘市に至る主要幹線道路である。					
一般国道108号石巻河南道路は、宮城県石巻市蛇田から同市北村に至る延長7.8kmの2車線道路(一部現道拡幅4車線)である。					
R3年度事業化	R2年度都市計画決定	R5年度用地着手	R6年度工事着手		
全体事業費	約210億円	事業進捗率 (令和7年3月末時点)	約6%	供用済延長	—km
計画交通量	11,400台/日				
費用対効果分析	B/C (事業全体) 1.5 参考 2.1 [2%] 2.6 [1%] (残事業) 1.6 参考 2.3 [2%] 2.9 [1%]	EIRR (事業全体) 6.4% (残事業) 7.2%	総費用 (残事業)/(事業全体) 178/196億円 事業費: 155/173億円 維持管理費: 23/23億円 更新費: -/-億円 感度分析	総便益 (残事業)/(事業全体) 286/286億円 走行時間短縮便益: 239/239億円 走行経費減少便益: 38/38億円 交通事故減少便益: 10/10億円 (事業全体) 交通量 B/C=1.3~1.6(±10%) 事業費 B/C=1.3~1.6(±10%) 事業期間 B/C=1.4~1.5(±20%) (残事業) 交通量 B/C=1.5~1.8(±10%) 事業費 B/C=1.5~1.8(±10%) 事業期間 B/C=1.5~1.7(±20%)	基準年 令和7年
事業の効果等					
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 (渋滞損失時間:25.8万人・時間/年、渋滞損失削減率:約5割削減) ②安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる (涌谷町役場～石巻赤十字病院 現況34分 ⇒ 整備後28分) ③災害への備え ・宮城県緊急輸送道路ネットワーク計画において第1次緊急輸送道路に指定					
他5項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
○宮城県知事の意見 1 「対応方針(原案)」案のとおり、「継続」で異議ありません。					
○以下の団体等から、石巻河南道路の整備促進について要望あり ・宮城県、石巻市、石巻市議会 ・東北市長会、「みちのくウエストライン」建設促進沿線市町村議会連携会議 ・石巻・新庄地域高規格道路建設促進期成同盟会、石巻・酒田間地域連携軸強化促進協議会 ・宮城国道協議会					

事業評価監視委員会の意見

- ・対応方針(原案)の事業継続は妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・令和3年度事業化、用地進捗率約19%、事業進捗率約6%(令和7年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等

- ・新技術の積極的な活用等により、コスト縮減に取り組む。

対応方針	事業継続
------	------

対応方針決定の理由

- ・道路交通の円滑性確保、救急医療支援、地域産業支援・物流支援のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を

設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)